

## 企業間のマッチング支援

県と(公財)かがわ産業支援財団は、大手企業をはじめ多くの企業とのマッチングを戦略的にを行い、中小企業の販路開拓・受注拡大を支援しています。

2019年10月には、大手総合電機メーカーの三菱電機株式会社伊丹製作所において、受注の獲得や拡大に向け、県内企業31社が参加する商談会を開催し、県内企業の新技術や新工法を直接アピールする場を設けました。

同時期に、機械の部品や金属加工などのものづくり技術に関する専門技術展である「関西機械要素技術展」にも四国の各県と連携して出展しました。

さらに、2月末には、幕張メッセで開催される、ものづくりに関する日本最大の見本市である「機械要素技術展」にも香川県ブースを設ける予定であり、県内企業10社の新技術を積極的に提案することで首都圏での販路開拓を目指します。

今後とも、県内企業の具体的な取引拡大につながるよう、マッチング機会の創出やサポートの充実に取り組みます。



関西機械要素技術展の香川県ブース

(問い合わせ先)産業政策課 ものづくり振興グループ  
高松市番町四丁目1番10号東館6階 ☎087-832-3351  
sangyo@pref.kagawa.lg.jp



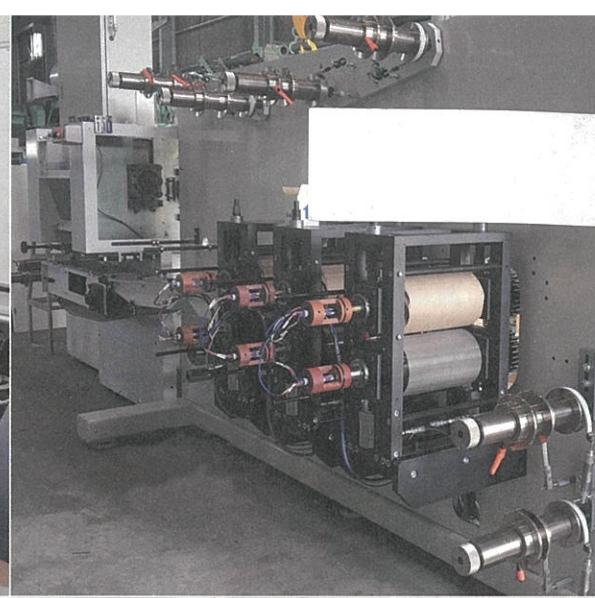
牛乳パック100パーセントで作られた水をはじく油吸着シートの中身



水に浸すとあっという間にふくらむ簡易土のうのサンプル



他社に比べ、高負荷でもモレない高性能なおむつ(右)



現在の主軸は「フェミニン」「医療介護」「ペット」「産業資材」の4カテゴリー8ブランド。日常生活のあらゆるシーンに展開する製品群は、星川さんいわく「すべて特徴を持つ商品」ばかり。毎年、より多くの新しいものを作ろうというテーマの下、現場に足を運び、マーケティングの役割も果たしながら、市場の細かいニーズを把握するのは営業部のメンバーです。

「大手と同じことをしても意味がない。私たちが目指すのは、質の高いものを求めるお客さまに付加価値で応えること」という星川さんの言葉は、近年の開発商品にもはつきりと表れています。2019年に2年がかりで生理用

「創造と実践」です。自分たちの手で新しいものを作り出し、新しい業態や販路を自ら開拓することで、今まで進んできました」と、代表取締役社長の星川光宏さん。

**私たちが目指す  
ニッチなものづくり**



星川光宏社長

「業界の中でニッチトップを目指していきたい」という星川さん。創業者の遺伝を受け継ぐ「創造」へのチャレンジは、まだまだ続きそうです。

「業界の中でニッチトップを目指していきたい」という星川さん。創業者の遺伝を受け継ぐ「創造」へのチャレンジは、まだまだ続きそうです。

問い合わせ先  
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課  
☎087-868-9904

日常の中の特殊吸収体

オ一衛材株式会社得意とする「特殊吸収体」の技術は、私たちの身近な商品となってさまざまな性能を発揮しています。1965年創業、業界初の一体型生理用ナプキン(中に吸収材を包み込んだ)を開発して以降、大人用紙おむつ、ペット用トイレシートなどを次々と世に打ち出し、78年には新素材「高分子吸収材」を使った1.5mm厚の超薄型ナプキンを発売して業界をリード。各製品の改良・高性能化を重ねる傍ら、食品の鮮度を保つシートや肉類・冷凍食品のドリップを吸い取るトレーマット

などにもオリジナリティーを発揮してきました。

同社が掲げる環境保護の精神を象徴するのは、94年に開発した海上用油吸着材です。合成繊維商品が中心だった当時、特殊な方法で牛乳パックをまるごと粉砕し「油は吸着するが水をはじく」という性能を100%紙素材で実現。効率よく油を吸収し、使用後も回収・処理しやすく、牛乳パックをリサイクルする際にポリエチレンが二次ごみになっていた問題も解消するという、画期的なエコ商品として注目を集めました。

「当社のモットーは、開発好きのアイデアマンだった先代が唱えた

# 少数の切実な声にも 手を差し伸べたい

## 挑戦する かがわの23 ものづくり企業

フェミニンケア用品や医療・介護用品、ペットのマナーグッズ、防災用資材に「吸収」のノウハウを柔軟に応用。多彩な製品を打ち出して、さまざまな業界を刺激する、香川のものづくり企業を紹介します。

**オ一衛材株式会社**  
住居 観音寺市豊浜町和田浜1610番地の2  
創業 1965年  
☎0875-52-3131  
http://www.daiichi-eizai.co.jp/

